



# 下大面白寿会 白寿会 だより

2022年9月  
下大面白寿会  
広報班

9月の誕生会は外へ出かけます

白寿会の歴史 上 初めての試み

9月6日(火)

大野城市心のふるさと館を訪ねます



例年になく暑い日が続いた8月でしたが、会員の皆さんお元気でしたか。

9月の誕生会は、以前にお知らせしましたように、『大野城市心のふるさと館』へ出かけます。

下大面白公民館が改装中で使用できないことから、白寿会古賀会長の発案と手配により、今回の誕生会が実現しました。新たな経験や楽しみが

増えるといいですね。

今回この誕生会への参加は、8月はじめに申し込みを受けて、現在30名となっています。

参加の方は、予定表を十分確認ください。

また、参加を申し込んだが都合が悪くなった方、欠席と返事したがやっぱり参加したい方、大急ぎで、申し出てください。

## 白寿会 各サークルへ活動補助金

白寿会の中で活動している、5つのサークル、

- 五目お手 芙蓉俳句会 大笑会
- グラウンドゴルフ愛好会
- ひよつとこ愛好会

に対して、白寿会から、規定に基づいて、活動補助金が渡されました。

十分な額ではないでしょうが、サークル活動の発展、向上に役立ててください。

## 10月のつどい について

10月のつどいは、大野城市牛額にある施設、「大野城市いこいの里」で行う計画で、準備中です。

マイクロボスで移動します。

毎年10月に講演をいただいている肥後氏の健康講話を聞く予定です。

入浴、カラオケもできるかも知れません。詳細は後日連絡します。

## 御目出とうございます



石橋 廣之様  
石橋 ケイ子様

八月にご夫婦揃って米寿を迎えられました。これからもどうぞお元気で。

白寿会の規約により9月誕生会の席でお祝いが贈られます。

## 9月の古紙回収

9月23日(祭) 10時～

23日は祭日 秋分の日ですが、古紙回収は通常通り行います。

おかげさまで、最近回収する古紙の量が増えています。

## 9月6日(火) 誕生会

上記の記事の通りに動きます。

参加の皆さん、お忘れないうち、気を付けてご参加ください。

出欠について、変更がある方は、申し出てください。

## 10月つどい 予告

10月5日(水) 10時～

場所は いこいの郷

バスで 移動

肥後氏の 健康講座

この日、他の予定を入れないで!

詳細については後日連絡



### 夏休みラジオ体操二気に

小学校の夏休みにあわせて、初めて終わりのそれぞれ5日間、ラジオ体操会が開かれました。

今年から下大利区の行事として取り組み、子供会と白寿会がお手伝いしました。

下大利区内2か所で、朝7時から。どちらの会場にも、子供15〜30名、白寿会から5〜8名の参加がありました。

新型コロナウイルスの影響もあり、参加を控えた方もあったかもしれませんが、ラジオ体操が、日常生活のリズム作りに役立つと思ったら、嬉しいですね。

協力いただいた皆さん、有難うございました。

### 西線 天神大牟田線

#### 線路盛花 完成 開通

8月28日、雑餉隈〜下大利間5.2km、総事業費1074億円、の高架化が完成し、電車が高架の上を走り出しました。

駅舎の新設完成もあり、下大利駅は見違えるようになりました。これから周辺施設も整備されると、一層便利にきれいになる事でしょう。

高架になったことで、19の踏切がなくなつたそうで、周辺の交通状況はずつと良くなることでしょう。

### 五百の手玉 日程表



9月から、開催する曜日が変わります。個別に連絡がいくと思いますが、ご注意ください。

第2・4水曜日 13時30分〜

第2・4火曜日 13時30分〜

28日当日は、下大利でセレモニーがあつたり、無料乗車の振り舞いがあつたようです。もう走りまわったか、高架の上を。

高架化の話が出たのは、20年ぐらいい前でしたかね。私が生きているうちに完成するかどうかから、という話がシニアクラブ年代の間で、よく聞かれたものです。

福岡駅〜久留米間に鉄道ができたのが1924(大13)年、1939(昭14)年大牟田まで開通。熊本まで延伸を図つたが、計画は頓挫。

1985(昭17)年、福岡の鉄道会社5社が合併、西日本鉄道会社が発足。1988(平10)年、西鉄福岡駅ビル完成

天神大牟田線は、つい最近まで大牟田線と呼ばれていた。もつと昔は、急行電車といえば大牟田線のことだったのも、懐かしい話。

### 小説「屁学入門」の主人公

先月の本紙にあつた、屁の話で思い出した話を一つ。

突然ですが、作家の藤本義一を、ご存じでしょうか。その昔、深夜テレビ11PMによく登場していた、あの作家のおじさんです。

彼の作品に『屁学(ひがく)入門』という短編小説があります。

そのあらすじは・・・

丸い顔のなかに、団子鼻とぶ厚い唇、丸眼鏡、ヨレヨレの背広を着た、どこから見てもさえない中年の女子高教師。だが、ひとたび家に帰ると、生き生きとして別人のように変わる・・・彼が猛烈に打ち込んでいるのは、屁学。つまり、オナラの研究。最大のパートナーであり良き助手を務める彼の女房は、あらゆる種類の屁の採集に協力している。そして、同好の士と「屁学」なる会報まで発行していた。

そんなある日、どこで聞きつけたのか、大阪のテレビ局から夫婦に出演の話が舞いこんできた・・・ひよんなことから人生が変わってしまった、おかしな夫婦を描いたおはなし。

た。この主人公の教師は、H市K高校3年6組、私の担任のF先生に違いないと。化学の先生でした。高校を卒業して約10年経って、小説の中で先生に偶然出会つたのでした。

小説では女子高の教師となつていますが、私のK高校は公立で男女共学。3年6組は男子ばかりでしたが。普段まじめなF先生は、3年生の最後のホームルームの時間に、突然、先生の屁に関する研究の成果を、熱心に語って聞かせてくれました。

小説「屁学入門」では、やや面白く誇張された部分もあり、テレビ出演は私が卒業して後のようですが、間違い無く、F先生が小説のモデルです。『屁学入門』は、文庫本となつて手元にあります。F先生は残念なことに、早く亡くなられました。

(柴田 順一)

### 次の文字を読んでみて

安芸ノ加賀周防ト駿河美濃尾張

古い国名が、無駄なく連なつています。さて、どんな意味が読み取れるでしょうか。

秋の蚊が

吸おうとするが

身の終わり

まさに、時節ですね。

